

やすサビ



議会だより

第179号

2024.11



安田中1年生の間伐体験 (協働の森づくり事業)

令和6年9月定例会

町長行政報告	2
一般質問 1氏が問う	5
町教育委員会委員の任命同意	6
契約締結	6
令和6年度補正予算	6
令和5年度決算認定ほか	7

令和6年7月臨時会

契約締結変更ほか	8
----------------	---

議員視察研修報告

.....	9
-------	---

9月11日開会。町教育委員会委員の任命同意、契約締結、令和6年度補正予算、令和5年度一般会計及び特別4会計の決算認定等、13議案を審議、1氏が一般質問を行い、13日に閉会した。

行政報告(概要)



黒岩町長

南海トラフ地震 臨時情報の状況

8月8日に日向灘を震源とするM7.1の地震発生に伴い、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が初めて発表された。

本町では、巨大地震発生に備え、職員が24時間態勢で配備体制を敷き、地震への対応を図った。

臨時情報は、8月15日に終了したが、引き続き地震

への備えを十分にとっていただきたい。

コロナウイルス ワクチン予防接種

令和5年度まで「特例臨時接種」として全額国費であったが、インフルエンザと同様の「B類疾病の定期接種」となり、65歳以上の高齢者または60歳から64歳までの基礎疾患を有する重症化リスクの高い方を対象とし、自己負担額3300円で、10月1日から令和7年1月31日まで県内の受託医療機関にて定期接種が実施される予定。

本町では、自己負担額3300円を公費負担とし、64歳以下の任意接種対象者は、2000円を公費負担の予定。

町営事業の 進捗状況

◆各種イベント◆

8月10日開催の「安田の夢まつり」は、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表のもと、開催時間の短縮や避難場所等の周知を行った。地域住民や帰省客を中心に約10000人が会場を訪れ、子どもたちの元気な踊りや町の魅力あふれるグルメを堪能いただき、大盛況であった。

◆安田のファンづくり事業◆

安田朗を通じて交流のある地域での物販やイベント参加等の積極的な取り組みにより、ふるさと納税や町への誘客による消費行動の増加、さらには移住促進など、さまざまな波及効果に期待したい。

◆物価高騰対策◆

国の総合経済対策である

物価高への支援として、令和6年度町民税の課税実績に基づき、町民税のうち所得割額726万2千円について定額減税を実施。

減税額が納税額を上回る対象者416人のうち8月30日現在、241人に総額914万円の調整給付金を給付。

令和6年度の新たな住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯に対する低所得者支援給付金は、1世帯あたり10万円を35世帯に支給。18歳以下の子ども1人につき加算額5万円は、3世帯6人に対して支給。

◆地域公共交通◆

コミュニティバス「やすら号」は、本年10月1日より、大野地区を経由する路線を



大盛況の安田の夢まつり

不動産区經由に変更し、デマンド運行は、米峯地区を除く中山全域で予約を可能とする。

◆やすだソーラーパワー◆

令和5年度の株主配当収入は964万円。固定資産税や法人町民税、土地貸付料を含め、メガソーラー設置後の関連収入は1億円を超える収入。

また、社会貢献と収益の

地域還元として、安田中学校1年生への防災グッズのほか、自主防災組織に対してポータブル電源を寄贈する計画。

◆移住・定住促進対策◆

「移住・定住促進計画」策定は、これまでの課題を整理し、本町の強み・弱みを分析、大手シンクタンク会社からアドバイスも受け、本年度策定の後期総合振興計画等とあわせ、より実効性の高い計画を策定。

移住者獲得の要件となる働く場の確保は、基幹産業である農業者の確保育成とあわせ、特定地域づくり事業協同組合の設立に必要な事業体及び運営面における事務局員の確保に努めている。

少子化対策は、生後3カ月から2歳までの子育て世帯の経済的負担軽減や、安心して子どもを生み育てられる環境づくりのため、包括連携協定を締結した「こうち生協」と連携し、毎月1回5千円程度、保護者が希望する、おむつやミルク等を家庭まで配送する「やすだ子育て定期便事業」を実施。

◆安田町総合振興計画◆

後期5カ年計画、第2期安田町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、住民1000人を対象にアンケート調査を実施。回収率は46.1%と前期計画を若干(0.6%)上回り、内容を分析のうえ、全庁体制で各種施策に反映していく。

◆総合交流拠点施設◆

レストラン望海ノ菜縁は、従業員の退職に伴い、経営継続は困難と判断し、8月末で指定管理を解除した。今回の結果を真摯に受け

止め、今後の募集方法や選定委員会での選定基準等の見直し等を図り、適正な管理者の選定に努める。

◆集落活動センターの活動等◆

8月22日から7日間の日程で多目的交流センターなかやまを拠点に、SUIJIプログラムが実施され、12人の高知大と台湾の大学生が、中山地域の方々と交流を通じて日本の文化に触れている。

「多目的交流センターなかやま」は、映像村では、8月19日から3日間、東京映画社主催で子どももの映画づくり教室が行われ、高知市在住の西森達也監督指導のもと、安田小・中学生9人が安田町への思いを表現した短編映画づくりを行った。

「日本遺産ゆずロードミュージアム」は、夏休み期間限定で休日もオープンし、県内外から親子連れなど252人の方が来場。

「中山間振興ビジョン」策定業務について、農用地保全対策や地域資源の活用、生活支援など中山地区の将来あるべき姿や必要な施策について集落活動センターなかやまを中心に、地域住

民や関係団体と十分協議していく。

◆農業振興対策◆

高知県農協が園芸用ハウス整備事業を活用し整備した、21aのハウス1棟が8月に完成。町営サポートハウスで実践を積んだ新規就農者が栽培を開始。

担い手確保及び支援対策の状況は、10月に大阪で開催される「れんげいこうち市町村合同就農相談会」へ参加を予定。担い手の確保に努める。

◆道路整備等の状況◆

阿南安芸自動車道「安田〜安芸間」は、安田西上区(唐浜地区)で、奈半利安芸道路安田町工区対策協議会において、諸対策事業に関する地域の意見等を取りまとめ、合意が得られたことから、国・県・町・対策協議会の4者で設計協議確認書へ調印となった。

安田東工区(西島・東島地区)は、設計案をもとに



SUIJIプログラム

7月に現地説明会を開催。今後は地域からの要望等をとりとまとめ、諸対策事業について検討協議を進める。

本年4月に新規事業化となった「奈半利く安田間」については、現地測量調査に向けて8月28日に町文化センターで関係者を対象に測量調査立入説明会を開催。

主要地方道安田東洋線の整備状況は、小川工区の明神口橋の架け替え工事が完了したことに伴い、仮設道路の撤去を行っているほか、県道の二車線化に向けて焼山地区で路側工事が進められている。

町営事業の進捗状況は、町道東谷寺山線改良工事(令和5年度からの繰越明許分)は8月に工事が完了し、令和6年度事業

分として舗装工事等の準備を進めている。

また、東谷橋など3橋の橋梁保全対策や当初計画の単独事業の進捗を図るとともに、ため池対策や下島頭首工の改修についても、渇水期の施工等、工期も限られた中での工事となることから、早期完成に向け、準備を進めている。



町道東谷寺山線改良工事

◆南海地震・防災対策◆

本年1月の能登半島地震では、家具転倒により避難が遅れるケースなども発生していることから、家屋の耐震化の促進とともに、家具転倒・ガラス飛散防止対策について重点的に取り組み、本年度より補助事業の上限を5万円まで引き上げ、器具等の取り付け困難な方は、町が実施する研修を受講した事業者(地元の大工)に依頼ができるなど、利用促進の周知を図る。

開かれた

町政運営

◆対話と協働◆

本年度は、補助金を活用した防災対策の推進、耐震診断・家具転倒防止対策事業の周知徹底、戸別津波避難ルートの作成、地域ごとの避難訓練の実施の4項目について重点的に取り組む。

地域住民懇話会は、7月24日の中里地区を皮切りに

順次開催。本年度も、出前講座と一体的に実施。

町長室の開放日と中山支所での執務日は、6月から8月まで33人が来庁。また「町長への手紙」事業は、8月末までに6件投稿があり、匿名を除き回答を返信。

教育行政の状況

◆学校教育◆

「2024年度全国学力・学習状況調査」の本町の正答率は、小学6年生、中学3年生ともに全教科、県平均と全国平均を上回る好結果となった。

中学3年生の職場体験学習は、7月に11人が自衛隊高知地方協力本部をはじめ、町内外の希望する11事業所で3日間実施。

安田小中学校合築によるプール改築工事について、令和7年度建築に向け設計を実施。小中学校の職員の意見を聞きながら、特に安

全に配慮した設計となるよう進めている。

8月開催の第53回高知県吹奏楽部コンクールにおいて、安田中学校吹奏楽部(田野町・奈半利町・北川村4校合同クラブ)が見事金賞を受賞し、県代表として松山市で開催された第72回全日本吹奏楽コンクール四国支部大会に出場。結果は惜しくも銀賞であったが、少人数の部員で合同チームというハンディの中、日々の練習の成果を発揮した。

◆社会教育◆

まちなみ交流館・和では、7月27日から翌年3月9日まで、本町出身者の「六世竹本土佐太夫」襲名100周年を記念した企画展を開催。

町制施行100周年記念事業の一環『新安田文化史』の続編となる町史編さん事業は、本編の執筆作業が大詰めを迎え、年度内での制作・製本に取り組んでいる。

一般質問

ことが知りたい

中山間振興ビジョン策定事業の進め方を問う

地域と連携した事業推進を図っていく



黒岩議員

問 令和6年度の新規事業として国の『農山漁村振興交付金事業（元気な地域創出モデル支援）』を活用し『中山間振興ビジョン策定事業』を進めようとしているが、中山地区の現状が十分に把握された中で策定されようとしているか問う。

中山地区の本年7月末現在の人口は429人となっており、農業に従事できる人口は約300人程度と見込まれる。また主要な産業はユズ栽培で令和5年度実

績では出荷量629t・販売金額（約）1億5千7百万円にのぼっている。しかし、農家の高齢化に伴い、重労働となる草刈りや、人手不足などにより『いつまで続けられるのか』といった不安の声も多く聞かえてくる。これらの問題解決のためスマート農業機械の導入や人手不足などの支援策が必要と考えるが、中山間振興ビジョン策定にあたり、中山地区のニーズを把握するためのアンケートを行い幅広く住民の意見を聞き、将来にわたり中山地区のユズ栽培が持続可能な基幹産業として維持されるような振興ビジョンの策定が求められる。

現在の進捗状況と、策定



西岡中山支所長

方針や施策内容など、町の考えを聞く。

答 令和4年度から農林水産省等と協議し、国の「農山漁村振興交付金事業」を活用して、今年度から令和8年度の3カ年計画でとしている。

7月19日、農林水産省農村振興部長による集落活動センターなかやまの視察では、県内の農村RMOの先進地域の事例を参考に検討してどうかとアドバイスをいただいた。

県内の事例は、デジタル技術を活用した新たな取り組みが進められており、地域の農業振興を軸として、集落維持の活動が行われている。こうした事例を参考に、中山を元気にする会や

各集落、関係する団体等と中山の実情に合った取り組みについて話し合い、地域の関心や、やる気を引き出し、中山のあるべき姿や必要な支援策、支援体制を取りまとめたいと考えている。

その中で、県内のスマート農業等の事例

は、集落活動センターなかやまを中心として検討すべきと感じている。具体的には、ユズ等の農作業の効率化を図るリモコン式草刈り機や消毒用ドローンの有効性・効果を検証する実証試験や中山間地域等直接支払制度の協定地区間の連携に向けた事務局体制の整備など、関係団体等と協議を行っていききたい。

本年度は、農地の利用計



リモコン式草刈り機

画を明確化する地域計画策定に向けたアンケート調査もあり中山地区は、ビジョン策定の基礎資料となる質問内容等を調整し、個別訪問による調査を行う。

この取り組みは、地域住民や多くの関係者の理解と協力なくしてはできず、中山支所と集落活動センターなかやまを中心に地域と連携した事業推進を図っていく。

推薦

◆安田川分水対策委員会委員の推薦◆



清岡 俊生 氏
(56歳)

内容

町条例の規定により町議会議員のうちから推薦するもの(3人)

- 委員 内川 一則
- 〃 小松 憲次
- 〃 佐竹 正利

人事

◆町教育委員会委員の任命同意◆

内容

町教育委員会委員4人のうち、1人の任期が9月30日で満了となることから、新たに後任委員の任命について、同意を求めるもの。

条例改正

◆安田町コミュニティバスの運行に関する条例の一部改正◆

内容

やすら号の利便性向上など利用者からの要望を踏まえ、運行経路の路線再編を行うため、条例の一部を改正するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆安田町国民健康保険条例の一部改正◆

内容

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行等に伴い、令和6年12月2日からマイナンバーカードと健康保険証が一体化となり、被保険者証が廃止されることから、所要の改正を行うもの。

審議結果…全員賛成(可決)

契約締結

◆安田町スクールバスの購入◆

内容

現行のスクールバスは、購入から17年経過し経年劣化のため今般、車両の更新を行うもの。
2社による一般競争入札の

結果、高知トヨタ自動車(株)と7001万8千円で契約。

審議結果…全員賛成(可決)

規約変更

◆高知県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更◆

内容

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年12月2日からマイナンバーカードと健康保険証が一体化となり、被保険者証が廃止されることから、高知県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

補正予算

◆令和6年度町一般会計及び国保特別会計補正予算◆

内容

本年度事業に係る追加、減額措置を行うもの。

- 補正の主な内容は、
- ◎一般会計(第3号)
- 職員の人事異動等に伴う人件費追加 766万円
- 消防団員防火装備品など物件費の追加 468万円
- 空き家改修工事及び町道改良工事など建設事業費の追加 972万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種費助成など扶助費の追加 522万円
- 中芸広域連合負担金など補助費等の追加 1243万円

○財政調整基金の法定積立金などの追加

6919万円
など

総額1億890万円の追加

補正後の予算総額

33億2350万円

◎国保会計(第2号)

○県支出金等返還金の追加、
決算剰余金の基金への積立

466万円
など

総額486万円の追加

補正後の予算総額

4億7402万円

質 疑

問(鶴田議員)

旧安田消防屯所の解体後の跡地の利活用計画は。

答 土地は中芸広域連合から町に返還されるが、跡地の利活用は未定である。

問(鶴田議員)

年度未策定予定の地域計画の町民アンケートの進捗状況は。

答 アンケートについては、

国基準の内容でなく、町の実情にあった設問となるよう現在、検討している。また、回収については、対面での聞き取り調査等を考えている。

審議結果…2件とも全員賛成(可決)

決 算

◆令和5年度一般会計及び特別4会計(国保・後期高齢・簡水・土地開発)の決算認定◆

令和5年度決算額は、5会計歳入総額が38億4758万円、歳出総額が37億6815万1千円であり、各会計の決

内 容

算状況は、※別表のとおりとなっている。

質 疑

問(内川議員)

税の徴収で令和5年度から固定資産税や軽自動車税をQRコードを使って納付できるようにしているが、どのようなものか。

答 納付書に記載しているQRコードを携帯電話やパソコンなどから読み込んで納付でき、また、365日24時間対応で納付可能であることから、納税環境の向上対策としても、今後も納付書発送の際にお知らせを添えるなど、引き続き周知を図っていく。

審議結果…5件とも

全員賛成(認定)

別表 令和5年度歳入歳出決算額

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	決 算 額		歳入歳出差引額	執行率	
		歳 入	歳 出		歳 入	歳 出
一 般 会 計	3,337,548,000	3,112,315,228	3,040,392,378	71,922,850	93.25	91.10
国民健康保険事業特別会計	505,030,000	473,313,175	468,644,010	4,669,165	93.72	92.80
後期高齢者医療事業特別会計	52,930,000	52,134,723	51,961,568	173,155	98.50	98.17
簡易水道事業特別会計	210,610,000	209,535,178	207,093,741	2,441,437	99.49	98.33
土地開発事業特別会計	300,000	282,036	58,880	223,156	94.01	19.63
特 別 会 計 小 計	768,870,000	735,265,112	727,758,199	7,506,913	95.63	94.65
合 計	4,106,418,000	3,847,580,340	3,768,150,577	79,429,763	93.70	91.76

第5回臨時会

令和6年7月30日開会、契約締結変更、一般会計補正予算を審議し、同日閉会した。

契約締結変更

◆町道東谷寺山線道路改良工事◆

内容

改良工事中の本路線について、伐採後の法面の浸食や崩壊の防止を目的とした斜面安定対策を図るため、モルタル吹付工及びコンクリート擁壁工を追加することから、契約金額に823万3500円を追加し、変更後の契約金額を6000万5千円とするもの。

質疑

問 (鶴田議員)

法枠工と排水構造物工の長さが短くなった要因は。

答 法枠工の減少分は、当初、土羽と法枠で対応することになっていたが、樹木伐採の過程で安定勾配が確保できなくなり、コンクリート擁壁に変更したもの。また、側溝は横断溝を次の工事で行うことから、今回削除したもの。

審議結果…全員賛成(可決)

補正予算

◆令和6年度町一般会計補正予算(第2号)◆

内容

当面、その執行に緊急を要する必要がある事項について、追加の措置を講ずるもの。補正の主な内容は、

○定額減税調整給付金の追加

321万円

○均等割のみ課税世帯等給付

金の追加

570万円

○非課税世帯等児童加算給付

金の追加

20万円

総額920万円追加

補正後の予算総額

32億1460万円

審議結果…全員賛成(可決)



議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則です

皆さんお気軽においでください

* 次回の定例会は、12月上旬にひらかれます。

視察研修報告

日程

令和6年7月4日・5日

視察先

そなエリア東京
東京都中央卸市場豊洲市場

参加者

佐竹正利議長 安並 功裕
 鶴田亀代志 内川 一則
 田之上健太 太田 賢三
 中島 瑞夫 黒岩 円
 小松 憲次 (1名欠席)
 町田議会事務局長



防災体験 (そなエリア東京)

◆そなエリア東京 (7月4日)◆

南海トラフ大地震に備え住民への災害に対する啓発力を養うため、『そなエリア東京』で防災体験を行った。

防災体験の内容は、発災後に国や自治体の支援体制が整うまでの目安3日間(72時間)を生き抜くための生存力をつける知恵を学ぶもので、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下型地震の発生後から避難までの一連の流れを、発災直後疑似施設内でタブレット端末を用い、判断を要するポイント数カ所を出題形式で回答しながら進んでいくものであった。この回答結果から、日頃の備えが十分できており生き残ることができ、無事に避難所にとどり着けるかなどを体験しながら学べる内容となっていた。

特設ホールには、避難後に避難所で必要な便利グッズなどが展示され、全てに工夫がされており、どれも参考になるものばかりであった。



避難所で必要な便利グッズの展示

震発生に備える啓発や防災意識の向上に十分に寄与するものであり、ますます住民への啓発を強化する必要があることを痛感した。

て、今後の農業振興にかかる諸課題解決に向け取り組むため、農作物の価格決定の状況や豊洲市場の概要などについて視察した。

◆豊洲市場 (7月5日)◆

本町の農業振興施策について

視察した青果棟は、野菜の鮮度保持のため室内温度は20℃を目標に設定されている



青果棟を視察（豊洲市場）

た。本町が得意とする園芸野菜はシーズンオフに入っており、その荷姿を見ることはできなかつたが、高知県の野菜が並べられるスペースは他県より広く、改めて高知県は農業立国であることが認識でき

た。
見学後は、視察の主目的である市場との意見交換会を行った。
〔質問〕物価高騰で農家のコスト上昇分が市場原理方式

では取引価格に適切に反映されないと思われるがどのように考えているのか。
〔回答〕生産量の多い・少ないで価格の変動相場制が原理であるが、それ以外でも量販店へ販売価格に対し生産者のコスト上昇を説明する努力をしている。
〔質問〕市場は農業者があつて成り立っているが、農家の後継者不足や産地維持に対し支援していく考えはあるか。
〔回答〕所得向上とともに安定した価格確保が農家への最大の支援と考えている。そのためにも努力は惜しまない。
〔質問〕市場の需要・要望に応えるため、農業者・JA高知県はどのような取り組みが必要か。
〔回答〕農作物は天候により左右されることは承知しているが、市場は量販店への供給責任を負っており、量の安定供給を望んでいる。また、現在は品質面が重要視されてお

り、量販店によっては一品でも腐敗野菜が発生したら対象県全ての野菜を棚から排除するような厳しいペナルティーが科せられる、市場に届けるまでの厳格な鮮度保持をお願いしたい。

〔質問〕販路拡大を目的として、高知県の農作物で輸出できる物はあるか。
〔回答〕山北みかんは根強い人気がある。また、生姜やシトウなどは東南アジアやタイで人気が出ている中で、



青果棟で説明を受ける（豊洲市場）



豊洲市場での意見交換

ミョウガが支持を伸ばしてきているが、現状の作付面積では数量的に積極的な輸出は難しい。

〔質問〕豊洲市場の取扱量は、我が国の一次産業が生み出

す食品の価格を決定付けているといっても過言ではないと思うが、豊洲市場の責任・役割をどのように考えているか。

〔回答〕関東で青果物の取扱量の最大大手は大田市場であ

り、豊洲市場はそれに次ぐ市場となる。言われるように、この両市場の相場価格は日本全国の市場より注目されていることは認識しているし、その責任も感じるところである。しかし我々の責務は農家の所得向上と、鮮度の良い青果物をご家庭にお届けすることであり、今後も引き続き市場本来の責任を果たすべく努力していきたい。

このように意見交換を行い、最後の締めくくりに『高知県の青果物は安定供給がなされ、高品質であり、市場としても思い入れは強い、今後販売は任せてください』と心強い発言があり、供給側の農家も品質・数量・納期など責任を果たしていかなければならない。

今回の視察研修内容を持って本町の防災・農業振興に役立てるよう努力していきたい。



農業についてなど意見交換を行う

議会のつぎ

6月

24日 第2回中芸広域連合議会定例会

26日 タブレット導入に係る視察会 (北川村)

7月

4~5日 町議会視察研修 (東京都)

11日 人口減少問題等に係る研修会

12日 安芸郡町村議会議員等研修会 (芸西村)

16日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟四国地方整備局夏期要望 (香川県)

17日 デジタル化推進検討委員会

22日 第2回安芸広域市町村圏事務組合議会定例会 (安芸市)

第2回ごめん・なはり線活性化協議会総会 (安芸市)

4日 議員協議会

(安芸市)

26日 議員協議会

議会運営委員会

主要地方道安田東洋・魚梁瀬公園線整備促進期成同盟会総会 (北川村)

28日 中芸広域連合消防大会 (田野町)

(北川村)

8月

1日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟夏期要望 (東京都)

5日 中芸教育振興協議会総会 (田野町)

8日 安芸市制施行70周年記念式典・祝賀会 (安芸市)

22日 総務教育常任委員会

23日 産業厚生常任委員会

26日 町村議会議長研修会及び県政に対する意見交換会・懇談会 (高知市)

29日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部連盟総会・整備促進大会 (安芸市)

4日 議員協議会

9月

5日 安田川を美しくする安田町民会議総会

6日 議会運営委員会

7日 安田中学校体育大会

20日 デジタル化推進検討委員会

24日 四国四県町村長・議長大会 (愛媛県)

25日 奈半利室戸道路建設促進協議会設立総会及び第1回総会 (室戸市)

30日 第3回中芸広域連合議会定例会

高知県町村会第9回特別委員会議演会 (高知市)

10月

2日 奈半利室戸道路四国地方整備局要望 (香川県)

3日 議会広報編集委員会

4日 馬路村・安田町議会議員の合同研修会

9日 安芸郡・海部郡議長連合会要望活動 (高知市)

11日 議会広報編集委員会

12日 高知東海岸グルメまつり&鉄道の日イベント開会セレモニー (安芸市)

編集後記

初めて聞いた南海トラフ地震臨時情報、その後何も起きなかつたから良かったのですが、私たちは、日常の中で災害への備えを忘れがちです。しかし、自然災害はいつ発生するか分かりません。日頃から防災意識を高め、非常用持ち出し袋の準備や避難経路の確認を行いましょう。また、家族や地域の方々と連携し、災害時の対応を話し合っておくことも重要です。災害に備えることで、大切な命と財産を守ることができます。備えあれば患いなし、今すぐ防災対策を始めましょう。(編集委員 安並)

議会広報発行人

議長 佐竹 正利

議会広報編集委員会

委員長 内川 一則
副委員長 黒岩 円
委員 鶴田 亀代志
委員 安並 功裕
委員 田之上 健太
委員 中島 瑞夫

各常任委員会の所管事項調査

総務教育・産業厚生両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

総務教育常任委員会

開催日 令和6年8月22日

調査事項

- ①令和5年度総務課・地域創生課・教育委員会の主要事業の実績について
- ②視察研修について
- ③その他

経過

総務課・地域創生課・教育委員会から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめた。

調査結果

◎町有施設における指定管理者制度の活用は、民間の能力を活用することにより地域活性化や経費節減を目的とするものであるが、指定管理者の選定においては、選定基準を厳格に認識し、



総務教育常任委員会

管理運営に関する評価制度を導入するなどし、適正管理に努めること。

◎児童生徒の不登校の状況は、多様な要因があり不登校児の学習支援、家庭と学校の連携など個別の対応が図られている。

今後、不登校支援について、家庭、学校、専門職など連携し、継続的にきめ細やかな対策に取り組むこと。

産業厚生常任委員会

開催日 令和6年8月23日

調査事項

- ①令和5年度経済建設課・町民生活課の主要事業の実績について
- ②鳥獣対策事業(制度説明)について
- ③来年度の視察研修について
- ④その他

経過

経済建設課・町民生活課から資料に基づき説明を受け、現地調査を行い、協議の結果、次のとおりまとめた。

調査結果

◎遊休農地の実態及び耕作放棄に至るまでの経緯などの分析を今後も引き続き調査研究を行う。あわせて、有害鳥獣対策についても、現状把握など



産業厚生常任委員会

調査研究を行うこと。

◎国民健康保険事業について、令和12年度に保険料水準が統一される予定であるが、今後の国保財政運営において、国保税の改正等、被保険者に急激な負担とならないよう適正な対応を慎重に検討すること。